



## 訓育部だより

愛徳学園中高等学校  
訓育部長 齋藤典正

一雨ごとに春の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より学園の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、授業をはじめ行事や部活動など、様々な場面で活動を大きく制限された一年でした。4月・5月は休校を余儀なくされましたが、授業を何とかできないかという思いからオンライン授業を実施して対応しました。Wi-Fiのつながりが悪く、課題もありましたが、発信の時間帯を変えるなどできることはすぐに実行し、改善に努めました。今でも、このときの動画を見直している生徒がいると聞き、嬉しく感じています。

6月からは感染が懸念される中、感染しない・させないための対策を十分にとりながら学校を再開しました。各行事も中止するのではなく、全校委員を中心に生徒たちが主体となってスポーツフェスティバルやWe Love Bunka・震災メモリアルなど形を変えて行うことができました。

Apple社の創業者であるスティーブ・ジョブズは、スタンフォード大学卒業式の式辞(2005.6.12)で「毎日をそれが人生最後の一日だと思って生きれば、その通りになる」「もし今日が最後の一日だとしても、今からやろうとしていたことをするだろうか」と述べました。彼はそのことを、自分自身に問いかけながら生き、様々な逆境に負けないで、チャレンジし続けた結果、数々の偉業を成し遂げました。

この言葉はスティーブ・ジョブズが17歳のときに感じとったと言われています。10代の多感な時期に感じた力が、その後の人生にとって大きな影響を与えます。生徒のみなさんにとっても、今、コロナ禍という逆境を前向きに捉え、スティーブ・ジョブズのようにチャレンジし続けることが、大切ではないでしょうか。

本校が『自ら考え 人に奉仕し 充実した人生を歩む女性』(教育ビジョン)の育成を目指しているのはなぜかと考えたとき、自分やご家族の幸せな人生を実現することはもちろんですが、それとともに世の中のより多くの人に希望の言葉を与えられる人を育てることこそが重要であると、私は解釈しています。

そう考えているときに、左記の大久保寛治さんの詩『なりたいな そんな人に』に出会いました。本校の第3代校長のシスター掘井が記した『本校が望む生徒像』の中に書かれてある内容の“素直な生徒”“明るい生徒”“優しい生徒”を感じさせる内容でしたのでご紹介いたします。

それでは、4月から新しい学年へと一歩前進する皆さんが、この一年とは違う一年にするぞという思いで、この春休みを有意義に過ごされることを願っています。

その人といると										
そんなひと	清くなれる。	美しくなれる。	穏やかになる。	優しくなる。	楽になる。	笑顔になる。	元気になる。	勇気が湧いてくる。	心が軽くなる。	明るくなる。

### 《中学部より》

今年度はいくつかの行事が中止となり、また部活動も通常の活動ができない中、いかにそれらが思春期を迎えた中学生の成長、そしてより良い集団づくりに大切であったかを実感する一年でした。特に中学部としては、「歓迎遠足」などの縦割り班で行う行事が実施できず、3年生をリーダーとして活動する機会がなかったことは残念に思います。また1年生は、入学早々のオンライン授業、学校再開後も本来の1クラスを2つに分けての生活と、仲間づくりに一番大切な時期を不安と共にスタートすることとなり、中学部全体で支えることができなかったことが悔やまれます。

しかし、どの学年においても、このような困難を伴う日々だったからこそその成長が見られました。手洗いや昼食時の沈黙、換気など、自身の健康だけではなく、周りの人の健康も守るためのマナーやルールを、自分たちで意識して実行したことは素晴らしかったと思います。2学期には、スポーツフェスティバルや1・2年生合同の須磨登山、3年生の修学旅行を実施することができ、生徒たちの中に、支え合う気持ちや他者への思いやりの心が育まれていきました。そして3学期に、その成長した姿を授業参観でご覧いただくことができたことは、保護者の皆様のご協力とお支えのお蔭であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

学年末を迎え、ウイズコロナの生活に慣れてきたところですが、今一度、学校再開時に感じた当たり前のことを当たり前にできる喜びや感謝の気持ちを思い出したいと思います。そして来年度は今年度の経験を活かし、より一層「安心できる学校生活」を目指して、力を尽くしてまいります。1年間、ご家庭と心を合わせて無事に乗り越えることができましたことに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 《高校部より》

高校部は、2月13日(土)57回生の卒業証書授与式を行い、36名が無事愛徳学園を巣立っていきました。例年のように在校生の列席もかなわず、保護者も2名までという人数制限の中、行われた式でしたが保護者の皆様、職員の見守る中、愛徳学園らしい温かな雰囲気の中で卒業式を行うことができました。

今年度は、緊急事態宣言の中、新学期がスタートしました。新しい学年に進級したにもかかわらず、仲間と毎日の学校生活を過ごすことができなかったことは、生徒達にとって辛く不安な日々だったと思います。幸い授業に関しては、早くからオンライン授業に切り替え、学びを遅らすことなく進めることができました。

6月からは学校が再開されましたが、感染予防を意識した学校生活やさまざまな行事が中止になり、今までとは違う学校生活に戸惑いもあったと思います。しかし、このコロナ禍の中、少しでも楽しい学校生活が送れるようにと全校委員を中心に感染予防をしながら「スポーツフェスティバル」を行ったり、オンラインで高3生を送る「予餞会」を企画するなど、前向きに今できることを考え実行しました。これは、まさしく愛徳学園がこれまで取り組んできた“Rainbow Program”の7つの力が活かされ、実践できたからではないかと思いました。

これからもしばらくは、新型コロナウイルスの感染予防を意識した生活が続き、ご家庭でも何かと不自由な日々を送られると思いますが、このような日常だからこそご家庭でできることを考え、どう乗り切っていくのかを話し合っただけだったらと思います。

4月から次の学年へと進級いたします。よいスタートがきれるようご家庭でもお励まし、お見守りください。

## 《第109期全校委員》

第109期全校委員は、「思いやりー原点を考え、伝えようー」を活動スローガンに掲げ、コロナ禍においても、充実した学校生活を目指し、1年間活動してきました。

多くの行事が中止となる中、1月にはzoomを活用して震災メモリアルを実施することができました。普段とは違う形となりましたが、過去の災害から多くのことを感じ、これから自分たちがどのように備えていくのかを考えることができる時間となりました。

また今年度は、このような状況だからこそ、日々の学校生活をより充実させるために何ができるかということを考え、各委員会でアイデアを出し合い、様々な活動に取り組んできました。その結果、学級内での委員会活動がより活発になり、学年の仲間との絆を深めることができたように感じます。

第110期全校委員には、2<sup>nd</sup> Stageから11名、1<sup>st</sup> Stageから12名の立候補があり、その中から10名の生徒が全校生徒の投票により選出されました。春休みに研修会を行い、今後の方針について話し合う予定です。

## ～1月15日（金）震災メモリアル@ZOOM～

26年前の1月17日に起こった阪神淡路大震災、10年前の3月11日に起こった東日本大震災を風化させないために毎年全校委員を中心に行なっている「震災メモリアル」を今年も実施しました。コロナ禍ということもあり、例年のように実施することはできませんでしたが、ZOOMを使い、生徒たちは各教室で全校委員の発表を聞きました。

阪神淡路大震災から26年が経ち、被災経験がない私たちは、その当時を知り、学んだことをさらに次の世代に伝え続ける使命があります。また、学んだことを今後起こるとされている南海トラフ地震のような災害に備えていかなければなりません。

今日感じた思いを一人ひとりが行動に変えていきたいと思えます。

## 生徒感想

震災メモリアルを終えて、自然災害は決して他人事ではないんだと再確認しました。私たちは一度も大きな災害を経験したことがなく、テレビや両親から聞く話などでしかどのような状況だったか、今後同じような災害が起きた時にどうすればいいのかわかる方法がありません。私の母は持病があり、薬も多く飲んでます。薬がなければ身体は痛いらしく、普段から走ることもできません。今日、関連死の話聞いて私の母も地震や津波を逃れたとしても、薬が出されなければ危険なんだということに気づきぞっとしました。今日見た避難の仕方を忘れずに普段から対策していれば周りの人の命を守ることができると思うので、災害にしっかり備えていきたいと思えます。

今年は、みんなで集まって震災メモリアルが行えませんでした。全校委員さんの詳しいスライドで、当時のことから、今できることまで幅広く学ぶことができました。阪神淡路大震災や東日本大震災で被災された方のお話を聞ける機会がないので、今日知ったことや教訓は忘れないようにしたいです。それをふまえたうえで、いつ起きてもおかしくない南海トラフ巨大地震に備えることは大切だと思いました。用意すべきものはたくさんありますが、身近なところで揃えられることを知って、家でも備蓄するようになりたいです。自分がどこで災害にあうかは分からないので、その場所にあった避難方法を知ることができて良かったです。頭では理解していても、突然起こったときにはパニックになってしまうこともあるので避難経路を確保することだけは、日々意識できるようにしていきたいです。

## 《全校委員奉仕》

今年度も、親の日・お米の日にご協力くださり、ありがとうございました。12月から3月までの集計結果ですが、親の日の募金が69,576円、お米の日のお米が95.75kgとなりました。特に3月は高3生が卒業し、在校生で里子を支えようと各クラスの奉仕委員が毎日呼びかけ、またそれに皆で応えて協力することができました。募金は各国の里子のもとへ、お米は、垂水教会を通して社会活動奉仕センターでの炊き出しに寄付させていただきました。

また、ペットボトルのキャップは2、3学期間で45kgのナイロン袋3袋分集まりました。これにより、JVC(世界にワクチンを 日本委員会)を通してワクチンが開発途上国へ送られます。オールメルも含め、さまざまな奉仕活動へのご協力、心から御礼申し上げます。

今年度は学級会を通して、「親の日・お米の日」について、なぜ集めているのか、どのような助けになっているのかを改めて知り、弱い立場におかれている人々について私たちにできることを考える時間が持てました。また、各学年で里子へのクリスマスカードを作成し、もう一人の私たちの仲間だと身近に感じることも出来ました。これからも「知り、考え、行動に移す」を続けていきたいと思えます。来年度も引き続き、ご協力をどうぞよろしくお願いたします。



## 《保護者の皆様へのお願い》

- ◇ インターネットの利用に関しては、ご家庭でも使用時間・場所などのルールを決めて頂き、ネット依存やゲーム依存の防止にご協力をお願い致します。また、学校名や個人名などの個人情報、本人や友人の動画や画像を載せたりすることのないようくれぐれもご注意ください。何か困ったことがあれば、学校や下記の兵庫県警本部サイバー犯罪対策課・少年相談室へご相談下さい。

※サイバー犯罪の相談

⇒県警本部サイバー犯罪対策課 (078-341-7441)

※犯罪などの被害にあったとき

⇒県警本部少年相談室 (0120-786-109)

- ◇ 始業式までは現担任が指導に当たりますので、何かありましたらお知らせください。

◆新年度始業式は4/8(木)9時登校です。制帽を被り、身だしなみを整え、心身ともに新しい気持ちでスタートしましょう。